

2019(令和元)年度 上半期遺跡調査発表会

山梨県内で発掘調査された遺跡の中から、特に注目を集めた最新成果を発表します。各遺跡調査の担当者がわかりやすく解説します。

日時:2019年10月19日(土) 午後1時30分~午後3時45分
(令和元年)

<受付開始:午後1時>

会場:帝京大学文化財研究所 大ホール

(笛吹市石和町四日市場1566-2 電話055(263)6441)

<発表遺跡>

1. 中原遺跡(北杜市)

発表:北杜市教育委員会

“縄文だけじゃない!八ヶ岳南麓に
弥生のお墓、多数発見!”

2. 大木戸遺跡(甲州市)

発表:(公財)山梨文化財研究所

“峡東地域における平安時代後期
大規模集落一画の調査“

3. 榎原・天神遺跡第3地点(南アルプス市)

発表:南アルプス市教育委員会

“百々・上八田遺跡に近接し、八田牧と
関連した平安時代から中世の集落遺跡“

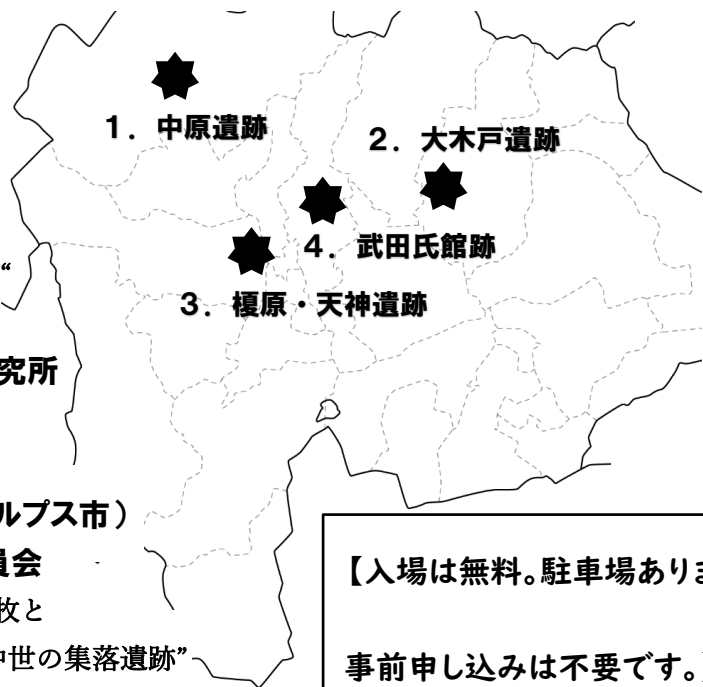
4. 武田氏館跡 味噌曲輪地点(甲府市)

発表:甲府市教育委員会

“武田氏の居館から新たに丸馬出(出入口
を防御する施設)が見つかった”

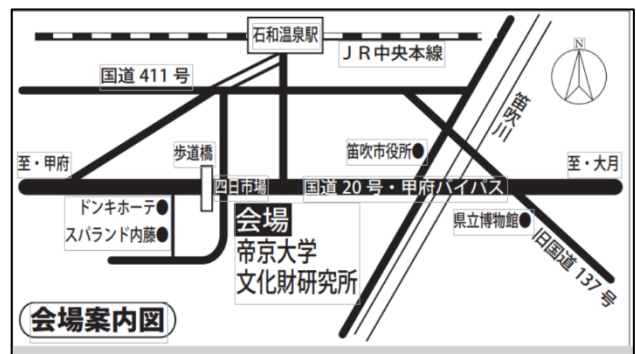
主催:山梨県考古学協会

共催:山梨県埋蔵文化財センター



【入場は無料。駐車場あります。

事前申し込みは不要です。】



問い合わせ:山梨県考古学協会事務局(帝京大学文化財研究所内) Tel.055(263)6441

古代のロマンを体感しませんか?